

5 | 22
満開の桜
楽しみに

小平町植樹祭



丁寧に苗木を植える参加者

町緑化推進委員会主催の植樹祭が本郷公園で行われ、各町内会長や小平・鬼鹿両中学校の生徒のほか、留萌森林管理署職員など合わせて約100人が参加し、エゾヤマザクラの苗木100本を植樹しました。

植樹祭は、町内の緑化運動の推進と緑化思想の普及・高揚を図るため毎年実施しており、今年は昨年に続き、ニトリ北海道応援基金の助成を受けて行われました。

植樹方法の説明を受けた参加者は、一本ずつ丁寧に苗木を植え、強風などで倒れないよう支柱に固定しました。

5 | 29
道の駅で
植栽活動

道路工業㈱が
地域貢献



道路工業㈱の職員と共に花を植える鬼鹿小児童

道路工業(株)留萌・稚内工事事務所(山下孝志所長)の職員による植栽活動が、道の駅「おびら鱈番屋」の植樹帯で行われました。

同社は地域貢献活動の一環として、北海道開発局が進める「ポランティア・サポート・プログラム」の協力を受けて植栽活動を実施しており、平成19年からは鬼鹿小学校の全校児童も参加しています。

この日も、鬼鹿小学校の全校児童が同社の職員と一緒に、町内の生産農家が育てたペチュニアやサルビアなど8種類1千2百本余りの花の苗を一株ずつ丁寧に植え、花壇を色鮮やかな花で満たしました。

5 | 31
初夏の祭典
賑わう

第27回
にしん番屋まつり



第27回にしん番屋まつりが旧花田家番屋で開かれ、時折小雨が降るあいにくの天気でしたが、来場した約3千5百人が初夏の祭典を満喫しました。

まつりでは、太鼓や吹奏楽の演奏、神楽の演舞、大漁ビンゴ大会などの催しのほか、テント内では、タコやニシン焼き、水産加工品やほっぷすてっぷのハンバーグなどの直売も行われました。

また、ビンゴカード購入者先着300人には大鍋でつくったニシンの三平汁が無料で振舞われ、来場者は浜の味覚を堪能していました。

